2021 年度　事業報告書

「茅ヶ崎公園指定管理者」NPO 法人茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会

１　公園管理業務実施報告

1）　維持管理基本水準書をもとに、日常巡視、建築物点検、清掃等をおこなった。
2）　植物管理　：　年間計画に沿って草刈り、枯木等除去伐採をおこなった。
3）　水辺管理 ： 年間計画をもとにアシ刈り、適宜に堆肥泥の浚渫をおこなった。
　　別途、横浜市の委託を受け、水生生物・水質調査、外来種駆除等をおこなった。
4）　水田管理 ： 草刈り、畦管理、水管理等をおこなった。
5）　施設管理 ： 園路、給排水施設、工作物等の定期点検、随時清掃をおこなった。
　　横浜市に相談し、園内の樹木を約 10 本、伐採・折れ枝の撤去・伐採枝の搬出をしていただいた。また、保全作業等により産出され山積みしていた伐採枝等をコンテナに投入し、搬出していただいた。別途、地域の造園業者に約 10 本の伐採を依頼した。
　　ナラ枯れの調査を実施、約 40 本の被害木を確認した。
6）　建物管理 ：トイレ、詰所の日常点検をおこなった。
　　倉庫の雨漏り、詰所周りの木造構造物、デッキ柵板等を日常的に点検、修繕した。
7）　「安全対策マニュアル」をもとに、公園利用者の安全をはかった。
8）　植生及び水辺調査を継続し、結果をもとに保護、伐採等保全作業をおこなった。
9）　利用者アンケート（来園者・米作りほか催し）を実施、意見を参考に対応した。

２　自主事業実施報告

1）植生豊かな公園をめざし、施設管理をおこなった。
2）生物の多様性を図るため、調査、保全作業、水生生物保護等をおこなった。
3）田んぼの維持管理を行い、里山景観保全と生物多様性を図り、活動した。
4）地域の自然を知り、楽しめる観察会、体験を計画し、実施した。
5）公園利用者が地域の自然にふれ、楽しめるよう展示等をおこなった。

３ その他

1）新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら公園管理業務と自主事業をおこなった。
2）夏季は熱中症対策をとった上で公園管理業務と自主事業をおこなった。

2021 年度　事業報告書

特定非営利活動法人
茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会

「施設の自然環境を地域の財産としてより豊かに、未来へ引き継いでいく」「施設の特徴を活かし、地域の方々に自然の恵みと魅力を感じていただけるように管理を行う」 これら基本方針のもと、事業を行いました。本年度も昨年度に続き新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）感染防止対策に苦慮しましたが、規模を縮小しながらもイベントを開催し、前年は経験者の有志のみで行った田んぼの維持管理作業も、本年度は一般募集を行い、多くの方々に自然とのふれあいや米作り作業の体験の機会を提供することができました。

また、里山の維持管理作業も、ボランティアの方々の協力で滞りなく続けることができました。今後も引き続き、安全な施設管理を心掛けていきたいと考えています。

1. 施設管理事業

基本方針「気持よく自然を感じ、安心して利用できる公園管理」のもと、管理を行いました。

施設管理事業には大きく分けて、構造物等の維持管理と、自然の保全の 2 種があります。前者は主にスタッフが担い、後者はスタッフによる作業とサポーターさんをはじめとするボランティアの方々を含めた作業を行いました。そのほか、ナラ枯れの調査や業者による高木・危険木の伐採、地下水ポンプアップの管理や湧水の減少への対応、安全対策も行いました。

1. 1. 構造物等の維持管理 毎週 2 回、園内のデッキや園路沿いの柵、詰所周りや正門外の木製、竹製構造物、カメ・ザリガニの展示水槽の木枠等の破損・腐食等を点検し、腐食や破損、ボルトのゆるみ等が見られた場合は修繕や作り替えを行いました。正門外 2 か所に設置している看板（施設名と開園時間について）についても作り替え、英語表記もつけました。そのほかにも、園路階段のえぐれの修繕作業や落ち葉溜めや池でかき上げた泥の堆積場の竹組みの作成・修繕も行いました。園内に堆積した伐採木の運搬、薪割や薪の整理、ほだぎとその置場の管理、堆肥のような生産物・副産物の管理場の整備作業、鉄杭（ロープの支えや看板の設置に利用）の加工作業や機械の整備等、道具の管理作業も行いました。

1. 2. 生きものの豊かな公園づくりのための作業 多様な植物が生息できるように保護し、植生に配慮した草・ササ刈りを行いました。植生の豊かさがほかの生きものの豊かさにつながり、生きものの賑わいを感じられる風景となります。また、鳥類のためにヨシ帯を冬季はなるべく残す等、多様な生きものが生息できる環境づくりを心掛けました。ササ刈や低木刈、保護植物の確認と印付け等はスタッフが日常的に行っておりますが、下記のようなボランティア参加者と一緒に行う作業も継続しました。

【定例保全作業】 8 月を除く月 2 回程度、スタッフとボランティア参加者で草刈りや低木刈、竹林整備等を

行うものです。今年度は緊急事態宣言が出ていた 9 月と悪天時および熱中症の恐れのある 8 月を除く毎月 2 回、ボランティアの方々を集めた定例保全作業を実施しました。定例保全作業では、小学生の親子が 2～3 組、定常的に参加するようになり、地道な広報や、子どもが作業しやすい雰囲気づくりや作業設定を心掛けてきた成果であると感じております。子どもたち、それぞれの興味に応じて、適したスタッフやボランティアが指導を担当しました。作業も、同じ日に草刈りを行うチームと竹林整備を行うチームに分かれる等、参加者が適材適所で活躍できるように配慮しました。

【平日草刈りボランティア】 草刈りの頻度を上げササの繁茂を抑えること、保護植物の見分け方等、植生保全の基礎知識を持ちながら作業ができる人材の育成を目的として、2020 年 10 月から、毎月第 1 木曜日を「草刈りボランティア」の日として、ボランティアの方々と草刈りを行っています。参加者は毎回 3～4 人ほどですが、作業をしながら参加者同士で気になる植物や生きものなどについて会話をする等、コミュニケーションや学習も楽しみながら作業ができました。毎月参加してくださる方は、閉園日の来園者のいない自然の中での作業がとても心地よいと言われています。

1. 3. 伐採と伐採枝の処理 12－1 月に、横浜市による伐採作業がありました。園路の頭上にぶら下がっていた高木の折れ枝（今後折れて園路に落下する危険性のあるものも含む）やナラ枯れの枝の除去、園路沿いのナラ枯れの立木の伐採により、園路の安全を確保することができました。

また、フデリンドウ（保護対象種）の生育場の光を遮っていた常緑樹の剪定作業も依頼し、植生保護にもつなげました。上記のような伐採作業で出た伐採枝や丸太の大部分は搬出されずに園内に残されます。薪に加工する等しておりましたが、それだけでは処理できないため、横浜市と相談し、2t コンテナで運び出しを依頼することになりました。11 月に、業者により運び込まれたコンテナに、定例保全作業でボランティアの方々にお手伝いいただき園内の伐採枝を運び込みました。これにより、多くの伐採枝が運び出されました。しかし、園内にはまだ多くの伐採枝が残っており、上記の 12-1 月に行われた伐採や、スタッフによる低木刈等でその後も伐採枝は増えています。今後も、薪の加工・提供やコンテナによる運び出しを続けつつ、さらに有効な活用・消費方法を模索していきたいと思っております。

1. 4. ナラ枯れ調査 10 月に園内のナラ枯れ調査を行い、約 40 本のコナラ・クヌギでナラ枯れを確認しました。そのうち園路沿いで落枝等の危険性の高いもの 5 本については上記の 12-1 月の伐採作業で処理を行いました。今後も点検時にナラ枯れについても注視し、特に園路沿いで確認した場合は落枝の可能性等について検討し、早急に報告する等の対応を続けていきたいと思います。

1. 5. 地下水・湧水の減少 近年、田んぼの両側からしみ出ている湧水の水量が少しずつ減少していましたが、2020 年 12 月に、急激に水量が減少し、ほぼ枯渇状態となりました。しかし、2021 年春頃から、田んぼの西側の湧水については少量ながら再び湧き出るようになりました。これについては、地下もしくは水

の出口付近の土砂崩れによる詰まりか、根本的な水量減少か、原因はいろいろ考えられますが、断定することはできませんでした。引き続き湧水量については水辺の委託事業による調査で記録をとり続け、注視したいと思います。カエル池上流のポンプアップについても、2020 年から稼働時間中に頻繁に停止するようになっていましたが、2021 年 4 月に公園緑地事務所による確認作業をしたところ、地下水の水位が低下していることが確かめられました。9 月下旬に詰まり解消のための洗浄作業をしてもらったところ、以降は稼働時間中に停止することがほとんどなくなりました。しかし、地下水位が回復したわけではないため、引き続き注視します。

1. 6. 安全　本年度は、8 月にスタッフ 1 名が草刈り作業中にコガタスズメバチに刺される事故がありましたが、早急にポイズンリムーバーの使用、水道水での洗浄、皮膚科の受診等の対応をとったため、大事には至りませんでした。直ちに公園事務所に報告し、翌日中に業者により、巣は撤去されました。その後 11 月までは、スタッフやボランティアによる草刈り作業を行う際は、似たような環境（ツルで覆われて下の様子が確認できない等）で作業することを避けるようにして、事故発生を防ぎました。また、スズメバチに刺された際の対応マニュアルを見直し、よりわかりやすくなるよう修正を行い、救急バッグに添付しました。

そのほか、来園者やスタッフに大きな事故や怪我はありませんでした。今後も「安全第一」を合言葉に、作業者は想定される危険の共有、作業における機械使用ほかルールの徹底、休憩時間の確保を守るほか、作業者同士の声の掛け合い等による意思疎通を十分に取りながら作業をしていきます。

2. 自然再生事業

ザイバイラン

2. 1. 植物管理　林床を明るくし、植物の生育を促すためのササ刈りや低木伐採を全域的に行う予定でしたが、コロナ禍によるボランティアの人手不足で、伐採、草刈り作業が進まず、ササの繁殖や薮化が進行しています。これにより小さな草本類の日照不足、重ねて高木の成長による日照不足も進んでいます。これらは高木類の間伐と低木の伐採で対処するしかありません。また季節の進み方が異常に早く感じられ、開花時期の乱れ、開花期の短さ、結実の悪さ、またスミレ類やニリンソウなどの成長の悪さなどが起こっていますが対処が非常に難しい問題です。

前年度はコナラの大径木でナラ枯れが多数発生しました。その後の影響が心配されたのですが、生存している株もあり、どの程度の被害と考えればよいか、調査が必要です。また他のサクラ類など高木では、大径木化・老齢化が目立ってきています。これら大径木の伐採は、横浜市に依頼していますが、数も多いため、十分な対処はできていません。

全体的な植生環境は上記の影響があるものの維持されています。ただし、目立ち始めた草本・小低木類の生育不良が今年度も続いています。一方、最近の季節変化の異常な状況のためか、前年度より 2、3 週早く咲く植物が見られます。気候とも絡む大域的な問題で、注意深く観察していくしかありません。

ゴマダラチョウ

2. 2. 昆虫観察　園を取り巻く環境面から見れば、「周囲がマンションや一般住宅の建設が進み、それに伴う人口の増加等で自然環境の自然度は低下の一途を辿っている」のが現状かと思います。その結果、昆虫の生息環境の劣化が心配される状況です。ただ、そのような状況下に於いても、子どもたちに人気の高いカブトムシやク

ワガタを始め、タマムシ、カミキリムシ、大型トンボのオニヤンマやギンヤンマ、チョウ目でも各種アゲハチョウの仲間やゼフィルスで知られるアカシジミやウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ミドリシジミが少ないながらも一定数の生息を毎年確認しています。また、園路外の立ち入り禁止などの対応で、その他多くの種類の昆虫の生息維持確保に努めています。（p17 参照）

3. 田んぼ事業

上・田植え　下：脱穀

田んぼにはドジョウやケラ、トンボのヤゴなどが見られます。日照と水と土とが揃った谷戸の畔周りなどには、生きものが多く見られます。小さい谷戸ですが、稲の生長が季節を彩り、東西の山の緑に囲まれた風景は、来園者の気持ちも和ませています。

2020 年度は新型コロナ感染拡大防止のために、前年の参加者の中から募ったボランティアとスタッフのみで維持管理作業を行いましたが、2021 年度は、例年よりも少人数（14 家族 35 名）ではあるものの、参加者の一般募集を行い、体験催しとして作業を行いました。かかし作りについては、実施予定日であった 9 月に緊急事態宣言が出ていたため中止としましたが、希望者に材料を渡し、各自自宅等で作成していただいたミニかかしを畦に設置しました。

4. 自然環境教育事業

4. 1. 催し

新型コロナ感染拡大に伴い、緊急事態宣言が出ている間は開催を中止しました。緊急事態宣言が出ていない時も、道具の使い回しや飲食を伴う体験型の催しは中止としました。観察会は参加者の人数を制限して開催し、できる限り自然観察の機会の提供を続けるようにしました（p8-9参照）。観察会は、野の花ウォッチング 5 回とクモの観察会、両生爬虫類観察会、ヤゴ救出大作戦、ベイトトラップ、越冬する生きものの観察会を行いました。体験型催しはクリスマス飾り作り、竹工作、森となかよしキッズイン生態園（未就学児向けネイチャーゲーム）3回とネイチャークラフト3回を、それぞれ行いました。

両生爬虫類観察会

ヤゴ救出大作戦

森となかよしキッズイン生態園

クリスマス飾り作り

募集に対して申込み数が上回ることも多く、その際は参加者を抽選で選びました。両生爬虫類観察会では特に応募が多かったため、午前と午後、2回開催し、なるべく多くの方に参加いただけるようにしました。

森となかよしキッズイン生態園へご参加いただいた親御さんと、野の花ウォッチングの常連参加者の方からはからは、それぞれ「コロナ禍の中、子どもたちが楽しめることが少なくなっているので、イベント開催が本当にありがたいです。」「コロナ禍で遠出等の楽しみが減っていますが、毎月の野の花ウォッチングへの参加を励みにしております」とのお言葉をいただきました。

4. 2. 教育機関の自然体験活動支援

茅ケ崎小学校・茅ケ崎東小学校・茅ケ崎台小学校の授業でのインタビューやクラブ活動の支援、理科の授

業での観察等の協力をしました。茅ケ崎台小学校の支援級の生徒たちの自然観察での来園も引き続き月 1 回程受入れました。また、茅ヶ崎保育園の園児たちの来園も 4 回受け入れました。

5. 自然の普及啓発事業

【広報誌】 小学校と区内施設に配布の季刊「生態園だより」を配布しました。会員と協力者にはニュースレターを郵送もしくはメールで毎月送りました。

【ホームページ】 ブログを月 2～3 回の頻度で更新し、現在の自然の様子や見られた生きもの、催しや活動をふんだんな写真を使って魅力的に発信しています。保全作業により多くの方にご参加いただくために、どのような目的で行っているか、またその成果についても載せるようにしました。今見られる植物の掲載ページの更新も継続しました（冬季を除く毎月）。2021 年の夏に、近隣に引っ越してきたご家族が、ホームページをご覧になって活動に共感してくださり、保全作業やイベントに毎回のように参加してくださるようになりました。今後も魅力的な発信を続けていきたいと思います。

【冊子・資料の提供・頒布】 アメリカザリガニについての啓発パンフレット「アメリカザリガニについて」を、区内小学校に配布したほか、ザリガニマスターの参加登録者にも提供しました。園内で見られる主な生物についての一覧冊子「生きものたち」も頒布していますが、昆虫等を探しに来る子どもたちが増える時期に求める方が多くいました。

【園内掲示・展示】 来園者に生態園の自然や生きものを知り、親しみを感じていただけるように、生物展示、パネル等展示、植物名札、クイズ看板を折々に更新しました。また、2022 年 1 月からは、詰所前にどんぐりゴマやブンブンゴマ、どんぐりすべり台等、どんぐりや竹等の自然物を使った遊びを体験できるコーナーを設けましたが、小さなお子さんを連れた方から好評をいただいております。

6. 水辺委託業務

指定管理とは別に、横浜市教育委員会からの業務委託による水生生物の調査保全活動に取り組みました。主に学生の水辺スタッフが生物調査、外来種駆除、アシ刈り、泥浚渫などを行っています。

6. 1. 水生生物保護 本年度の魚類と甲殻類の確認種数は各7種、6種でした。コイ科の希少種は年間4回の調査における採捕数は延べおよそ300尾でした。2020年のかいぼり後、減少が懸念されていましたが、かいぼり以前の水準まで回復しました。数は 123 尾で、前年の 391 尾と比較して大幅に減少しました。

ニホンアカガエルの保護を 2009 年から続けています。最多の年は約 30 卵塊を確認していますが、今冬は 10 塊でした。またトンボ池では毎年 2-3 月にアズマヒキガエルが産卵しますが、今春は約 3 卵塊と減少しており、今後の動向が心配されます。

6. 2. 外来種駆除 2018 年度に侵入が確認されたブルーギルを駆除するために、様々な手法を使い、積極的な作業を継続しています。その結果、捕獲数は 20 年度 391 尾、21 年度 123 尾、21 年度は6尾と、減少しています。稚魚も確認されなかったことから再生産は無かったと考えられましたが、引き続き、積極的に駆除作業を続けていきます。

アメリカザリガニについては、採捕個体数は 7,013 個体で、駆除活動と計測を開始以来の最多数となりました。捕獲漁具の追加など捕獲圧を上げた成果と言える一方、同様の作業を行った前年度よりもさらに2倍以上の数となった理由は明らかではありません。

6. 4. 水質 pH とCOD等の調査は、例年と比べて大きな変化はありませんでした。湧水の減少は明らか

で、田んぼ上部の東西からの平均湧出量は、東側で約 0.6L/分、西側約 1.5L/分。いずれも過去最低を記録しました。

7. その他

7. 1. 来園者アンケート 147 通の回答をいただきました(p11-14 参照)。生態園のよいところとして、多くの方から「自然」や「生きもの」について挙げていただきました。おとなからは「整備されすぎない風景が懐かしい」「自然のありのままの姿が良い」「奥行きのある深い静かな自然が楽しめる」等、生きものに配慮した管理を行うことにより維持された景観についても高く評価していただいています。田んぼや池の存在についても複数の方からよいところとして挙げていただき、里山的な多様な環境が見られることにも好感をいただいていることがわかります。クイズがあることについても 3 名の方からよいところとして挙げていただき、2020年3月から始めたクイズ看板の設置が来園者サービス向上につながったことが実感できました。意外に感じられたのが、「柔らかい道」「道が歩きにくいこと(いい意味で)」のように、舗装されておらず一般的には歩きにくそうな園路を良いところとして挙げていただいたことです。ぬかるみを防止するために刈ったササを刻んで頻繁に園路に撒き、大雨の際には水溜まりの水が流れ出るように排水路を掘る等、なるべく快適に通行できるよう配慮しておりますが、今後も通行の快適さと自然ならではの土や草の感触を併せ持った「道」を目指して園路管理をできればと思います。

「あるとよいもの」としては、例年挙げられているベンチ(いす)について、本年度も 2 名の方から挙げられていました。ベンチ等構造物の設置については、安全管理の面で慎重に考えておりましたが、 3月に1脚を、日当たりのよく安全な場所に設置しました。他にも、「稀少な植物について守るための取組があった方が良い、存在を知りたい」というご意見もいただきましたが、園内の植生保護方針について、ご理解いただけるように広報を行うことを検討したいと思います。

7. 2. 生産物・副産物の提供 本年度はタケノコが裏年であったため少なかったものの、竹の再生産に支障が無い範囲でできる限り多くを掘り、提供しました。サンショウの苗も、多くの方がお求めくださいました。シイタケも、収量は多くはないものの、好評を得ました。竹は、七夕用として茅ヶ崎保育園、茅ヶ崎東小学校、近隣の高齢者施設に数本ずつ提供しました。また、堆肥入れの枠材として、竹を 50 本程、三保の介護施設に提供しました。伐採木については薪に加工し、11 月までは夏季を除く毎月 1 回、近隣のピザ屋さんに提供し、12 月には地域の市民団体に積み木用として裁断したものを提供しました。稲藁は、地域団体の「おやじの会」に畑に撒く用途で提供しました。上記の提供に関しては、寄付金でご支援をいただきました。

7. 3. 新型コロナ感染拡大防止対策

新型コロナ感染拡大に伴い、横浜市のガイドラインを随時確認しながら下記のような対応を行いました。

【日常の対策】 スタッフは毎日出勤前に検温・体調チェックを行い、園内での職務にあたりました。トイレのドアの取手等を小まめに消毒しました。詰所前に設けた自然物遊びのコーナー(5. 自然の普及啓発参照)には手指用アルコールスプレーを用意し、安全に遊んでいただけるよう配慮しました。

【イベント・作業の感染防止対策】 緊急事態宣言中や感染者数の急増が見られる時期はイベント・作業を中止としました。体験型イベントは緊急事態宣言が出ていない場合でも講師と相談しながら開催可否を判断しました。

イベント・作業参加者には検温と体調チェックにご協力いただきました。参加を申し込んだ方には体調チ

ェックリストを事前にメール添付で送信し、確認をしてから来園いただくようにしました。受付時に、非接触型体温計で検温すると同時に、体調についての口頭での確認を行いました。

イベントを開催する場合、参加者は 5 名程度に限定し、開催中はマスクの着用を促しました。

保全作業や米作り作業では、作業者同士が十分に距離を保てるよう配慮しました。

保全作業では、軽食・水分の提供は中止とさせていただき、水分は各自でご用意いただくようにお願いしました。

米作り作業では、参加者が田んぼや足洗い場で密集することを避けるために、作業によっては、2～3 日に分けて行いました。また餅つきは行わず、収穫したお米は参加者や協力者等に配布しました。

【周知】　イベントや作業を中止とした場合には、申込みをされた方にはメール連絡を行ったほか、ホームページでも中止の旨を随時掲載しました。そのほか、来園者への対策への協力のお願いについて随時掲示を行いました。

【物品の購入】　感染拡大防止対策のために必要なものの購入を随時行いました。アルコール（手指用と物品用両方）と使い捨てマスクはストックも含めて常備しました。

詰所入口の対策物

7. 4. 暑さ対策

近年深刻化している夏の暑さによる熱中症対策のために、イベント開催・作業実施の際には、気象庁の熱中症危険予報や WBGT 計による危険度指数の測定結果に基づいて開催時間・場所を適宜判断しました。また、塩分飴や保冷剤を常備し、適宜参加者に配布しました。特に 8 月は危険性が高いため、予め定例保全作業や草刈りボランティアは行わないことにしております。

2021度　事業一覧

月	施設管理	自然再生	自然の普及啓発	
通年	管理　施設清掃 施設安全 柵点検 トイレ・花壇 園路草・木 園路刈草敷き シイタケほだぎ 道具・機械 魚籠・胴長 水槽管理 ポンプ水量 田んぼ維持管理 作業　伐採木玉切り 薪作り チッパー 低木・ササ刈	観察　植物定点 鳥類 昆虫ほか 調査　植生 水質 水生生物 昆虫ほか 駆除　移入植物 移入水生生物 アシ除去 ササ刈 保護　植物 カエル クモ等卵のう	掲示　「今月の植物」 「御手洗池で見られる生きもの」 「昔ながらの米作り（年間風景）」 田んぼ作業風景（作業毎） 昆虫・鳥類等生きもの案内 その他活動案内パネル 植物名札 クイズ 展示　採集生物・ハチの巣・生物標本 飼育　魚類・カメ・ザリガニ・モクズガニ 催し　「めざせ！ザリガニマスター」5～10月 （引取り・記録受付のみ）	提供　野草カレンダー ザリガニ（5-10月：iZoo） 生産物　タケノコ・ショウブ・ササ サンショウ（苗・実） 薪・竹トンボ・竹細工 発行　ニュースレター（NL、毎月） 生態園だより（4回） 記念誌・生きものたち 植物Gブック「ようこそ生態園へ」 三つ折りパンフレット 「アメリカザリガニのこと」 発信　ホームページ （ブログ・イベント情報・今月の植物等）

青…水辺委託事業　　茶色…コロナ対策　　<下線　は催し。後ろの数字はボランティアまたは参加人数>

月	施設管理	自然再生	米作り	催し・調査試行	普及啓発・広報	協力・提供
4	枯木点検 ほだぎ水やり 丸太玉切り チッパー修理 カメ展示水槽修繕 駐車禁止看板・コーン設置	草刈（里山保全）　12 タケノコ間引き サンショウ間引き 植物保護紐張り	種もみ漬け 種もみ撒き 苗床水やり・シート設置 説明資料準備 田植えロープ作成	野の花ウォッチング　7 クモ観察会　9	せいたいえんだより配布 植物名札設置	タケノコ提供 サンショウ苗提供
5	丸太運搬 鉄杭（柵用）加工 ハチトラップ回収 水槽蓋作成 ヨシ刈り	草刈（里山保全）　18 保護植物周り草刈り 保護植物囲い作成 保護アカガエル幼体放流 タナゴ調査	苗床水やり・移動 苗床追肥 畦塗・補修・泥ならし 田起こし代掻き　33 田んぼ水管理	ザリガニマスター ザリガニ引取り 両生爬虫類　24	植物名札設置	サンショウ苗提供
6	鉄杭（柵用）加工 スズメバチ点検 刈り草押切・園路散布 展示水槽修繕 ヨシ刈り アナゴカゴ修繕・交換	草刈（里山保全）　8 草刈ボランティア　3 植物調査 水路溜り泥上げ ブルーギル人工産卵床設置	苗取り 田植え　37 苗直し 田んぼ水管理	野の花ウォッチング　7 ザリガニマスター ザリガニ引取り ヤゴ救出大作戦　10 昆虫探偵団　8	前年度アンケート回答作成	港北ガーデン記事協力 竹ササ提供（地域団体） ザリガニ提供（中学校） 茅ヶ崎台小総合学習　60 茅・東小クラブ（生きもの探し）　30 茅ヶ崎保育園来園
7	薪割 木製展示台作り変え カエル池泥留場作成	草刈（里山保全）　12 植物保護（囲い） 植物調査	草取り　19	ザリガニマスター ザリガニ引取り	植物名札設置	竹ササ提供（小学校） 茅ヶ崎台小支援級来園　30 植物友の会相談対応
8	施設総点検 ナラ枯れ報告 折れ枝撤去	草刈り		ザリガニマスター ザリガニ引取り		栞提供 明治大調査相談対応
9	ほだぎ置き場整備 薪整理 アンケート机修繕 稲藁・草押切（堆肥）	草・低木刈り 保護つる植物縛り	かかし設置 ヒエ取り はざ設置 藁ほぐし	ザリガニマスター ザリガニ引取り		都市大卒論研究 植物友の会見学
10	正門看板作り替え 土留め作り（トンボ池） ナラ枯れ調査・報告 泥上げ（トンボ池） 堆肥管理　3 枝運び（里山保全）　11 シイタケ水やり	草刈（里山保全）　5 ザリガニ防除壁追加 貝・タナゴ調査 植物調査 植物保護紐交換 草刈（植物保護）	稲刈り　32 田んぼ水管理 藁紐作成	野の花ウォッチング　6 ザリガニマスター ザリガニ引取り	せいたいえんだより配布	都市大卒論研究 明治大学調査・打合せ 茅ヶ崎台小支援級来園　30 itscom取材対応 茅ヶ崎台小授業内容相談 茅・東小クラブ竹伐り　30
11	看板新調・設置 枝運び・裁断・詰込み 竹間伐 泥上げ（トンボ池） 堆肥天地返し	草刈（植物保護） 植物調査	脱穀　40 籾摺り（JA）	野の花ウォッチング　6 クリスマス飾り作り　10 竹工作　11 ネイチャーゲーム　8		明治大学調査 茅ヶ崎台小生きもの探し　90 茅ヶ崎台小支援級来園　30

月	施設管理	自然再生	米作り	催し・調査試行	普及啓発・広報	協力・提供
12	竹林整備（里山保全） 18 園路落葉かき 鉄杭（柵用）加工 堆肥天地返し トンボ池排水溝掃除 泥上げ（トンボ池） 落葉溜竹枠修繕	植物調査 外来樹木伐採	精米（JA） 米配布（参加者）	ネイチャークラフト	自然物遊びコーナー設置	明治大学調査 伐採枝提供（地域団体）
1	階段えぐれ場所整備 機械類点検 鉄杭（柵用）加工 竹林整備（里山保全） 14 堆肥天地返し	草刈（里山保全） 4 林床整理（落葉落枝整理） 植物保護 アカガエル卵保護		冬越しする生きもの 8 ネイチャークラフト ネイチャーゲーム 12		茅・東小クラブたき火 30 茅・東小インタビュー対応 5 餅つき道具貸出（保育園） 明治大学調査
2	竹運搬（提供用） 泥留場整備（トンボ池） チッパー作業・機械整備 階段えぐれ場所整備	草刈（里山保全） 18 林床整理（落葉落枝整理） アカガエル卵保護	堆肥入れ準備 当年度アンケート準備			明治大学調査 竹提供（介護施設こもれび）
3	ほだぎ作り（菌打ち）	草刈（里山保全） アカガエル幼生放流 タナゴ調査		ネイチャーゲーム ネイチャークラフト		茅ヶ崎台小支援級来園 30 明治大学調査

□ 業者依頼業務・作業

項目	月日		説明
トイレ清掃全般	通年		斎藤商会

□運営ほか

月	運営	地域連携	
通年	報告（月次・四半期・年度/環境創造局） 計画提出（年度末/環境創造局） 事務局打合せ（毎月） 拡大事務局打合せ（適宜） 理事会・定期総会（年１回） 公園事務所打合せ（年１回程度）	印刷（茅ヶ崎・茅ヶ崎東・中川小学校） 授業フィールド（茅ヶ崎・茅ヶ崎東小学校） 調査フィールド（都市大・明治大） 米作り（茅ヶ崎・茅ヶ崎東小学校） クラブ活動（茅ヶ崎東小学校）	提供（薪→来園者・店舗） 提供（藁→おやじの会） 提供（タケノコ・サンショウ・シイタケ→来園者） 提供（ザリガニ→iZoo・南中学校） 提供（竹材→保育園・小学校・介護施設　等） 貸出（道具→おやじの会ほか）

月	運営	研修・視察等	月	運営	研修・視察等
4	雇用契約更新		9	会費納入状況調査	
5	20年度事業報告作成 委託報告提出（教育委員会） 事業報告提出（環境創造局） 書類提出（財政局） 伐採枝処理方法等検討（公園事務所） 理事会総会議案書作成 監査・理事会・総会		10	会費納入状況・NL送付状況照合 賃金条件変更内容整理（最低賃金引上げ）	
			11	雇用契約更新 22年度人件費・社会保険料等試算	
			12	年末調整・扶養控除申告作成	
			1	源泉所得税計算等年度末会計処理 事業計画提出・修正	
6	理事会・総会議事録作成 事業報告、役員変更届提出（市民局） 変更登記（法務局） 労働保険申告 社会保険関係書類提出（社保事務所等）		2	税務署関係書類作成 労働条件通知書作成 退職・休業補償　手続き 各保険関係更改手続き	
7	会費繰り越し作業 イベント開催可否検討		3	各保険関係更改手続き 委託事業見積もり提出 年度締結書類提出（環境創造局）	

□およその利用者数等

催し参加	ボランティア参加	入園数（活動外）		サポーター登録
392	230	4,838		130

スタッフ勤務	トイレ清掃
945	360

□横浜市による実施作業ほか

項目		月	説明
行政評価	書類提出	4月	管理運営評価シート提出
指定管理応募	書類提出	7月	
	面接	9月	
事業検討	面談	12月	指定管理応募面接資料プレゼン・検討
伐採		12-1月	園路に近いものを優先的に10本伐採を依頼

□取材

項目	月	説明
itscom	10月	稲刈
港北ガーデン	6月	記事相談・園内撮影

法人名：特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会

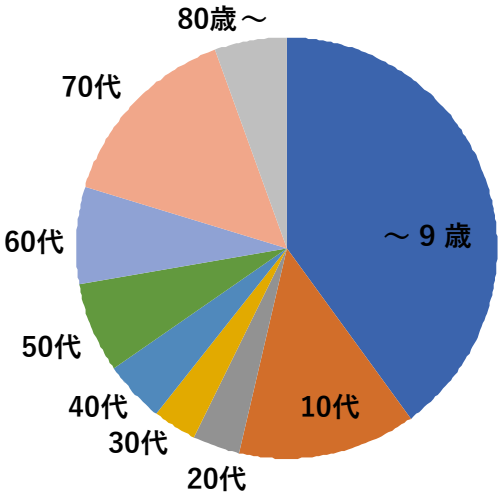
２０２１年度　収支計算書　　（2021年4月1日～2022年3月31日）

(単位：円)

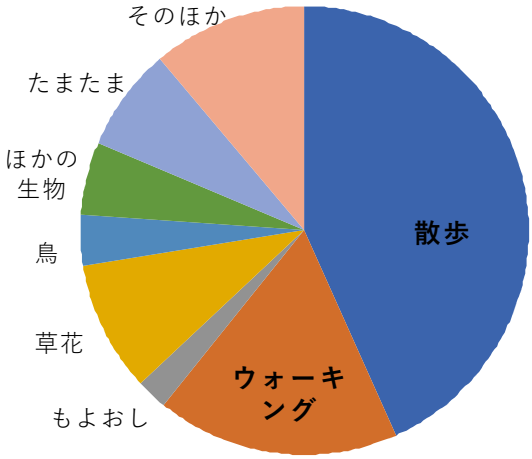
科　目	横浜市 指定管理事業	一般会計	合計	
Ⅰ 経常収益				
1．受取会費(非)				
正会員受取会費		8,000	8,000	
賛助会員受取会費		84,000	84,000	
2．受取寄付金(非)				
受取寄付金・受取協力金		183,511	183,511	
運営協力金（自販機関連）		118,232	118,232	
3．事業収益				
横浜市指定管理費	10,156,300		10,156,300	
4 その他収益				
受取利息		57	57	
経常収益計	10,156,300	393,800	10,550,100	
Ⅱ 経常費用				
1．事業費				
（1）人件費				
①施設管理事業	924,692		924,692	
②自然再生事業	853,966		853,966	
③田んぼ事業	1,156,787		1,156,787	
④環境教育事業	524,668		524,668	
⑤普及啓発事業	587,215		587,215	
事業 管理人件費	1,973,138		1,973,138	
法定福利費	335,020		335,020	
福利厚生費	98,533		98,533	
研修費	3,000		3,000	
人件費計	6,457,019	0	6,457,019	
（2）その他経費				
①施設管理事業	1,817,274	26,379	1,843,653	＊①内　189,575 トイレ施設管理委託
②自然再生事業	192,597	107,581	300,178	
③田んぼ事業	111,046	34,094	145,140	
④環境教育事業	91,829	51,464	143,293	
⑤普及啓発事業	176,151	105,474	281,625	
事業費 計	2,388,897	324,992	2,713,889	
通信費	106,693		106,693	
事務諸費・消耗品	63,697		63,697	
会議費・来客等	11,938		11,938	
旅費・市内交通費	12,457		12,457	
給与ソフト使用料・ほか雑費	21,780		21,780	
管理費 計	216,565	0	216,565	
その他経費計	2,605,462	324,992	2,930,454	
事業費計	9,062,481	324,992	9,387,473	
2．管理費				
（1）人件費				
管理人件費	850114		850,114	
法定福利費	67,004		67,004	
福利厚生費	19,706		19,706	
人件費計	936,824	0	936,824	
（2）その他経費				
通信費	31,344		31,344	
事務諸費・消耗品	26,741	885	27,626	
会議・来客費	453		453	
旅費・市内交通費	6,343		6,343	
理事　交通・通信費補填	6,384		6,384	
機器・その他	12,000	56,240	68,240	
給与ソフト使用料・ほか雑費	4,356		4,356	
その他経費計	87,621	57,125	144,746	
管理費計	1,024,445	57,125	1,081,570	
経常費用計	10,086,926	382,117	10,469,043	
当期正味財産増減額	69,374	11,683	81,057	

来園者アンケートまとめ

来園者の年代



来園目的



◇あるとよいもの

イベントをいっぱいしてほしい（×２）
イベントをもっと開催してほしい。
コンポスト体験、森の名刺づくり（森に落ちているもので自己紹介）
ここにいる生きものが獲れるようになる。
ここで追いかけっこをしたい（妹の意見）
グリーンアドヴェンチャー
スタンプラリー
ここにはザリガニやカメがいるんだからもっと動物を増やしてほしい！
爬虫類がいたらいいな
ヘビを巻きたい。
ヘビふれあい施設
鳥
カワセミ
水鳥（雁など）がいるようになると、さらにいやされる空間になる
外来種の展示。ウシガエルなど。
おはな（×２）
もっとベンチ
いす
木のブランコ
木の電車。
すべり台
アスレチック（×２）
遊具（×２）
水遊び場
きれいな水が流れる川
田がもう少し広い方がいい
かかしがもっとあればいいと思う
園内の周り方
双眼鏡がほしいです
ドングリのおもちゃがあったらうれしい。
生きものの本
杖

駐車場

こんなのがほしいです（絵）
研究してください

◇気になること

自然体験などの対象年齢が幼児であることが多いが（もしくは親子）20 代の若者にも参加させてほしいです！
開園日を平日にも広げてほしいです。
池西側のハンノキが茂りすぎでは？ニセアカシアが出始めているので今のうちに伐採した方が良いと思いますがどうでしょう。
草むしり
くさぬきをしたほうがいいよ
裏山の草取り
落ち葉掃除
クイズ。誤答が苦しい。
かいぼりをして水質をもっとよくしてください
池
池がきれいだといいと思う
田んぼに油が浮いている
もうちょっと水が澄んでいるといいかな。アンケート回答で茶色い理由もわかっておりますが・・・
休みどころのテーブルをきれいにしてたら素敵
森林を大きくすること
広くしてほしい

◇好きなところ

自然（×３）
自然がたくさんある（×１０）
自然豊かなこと
自然がいっぱいで楽しかった。たまたま土曜日に来たので入れてうれしかった。
自然と緑
自然がいい（×２）
大自然
自然を感じられる
自然がたくさんありきもちいい。
自然がいっぱいあって素敵なところ
緑が多いところ
自然のままのところ（×３）
自然のまま手を入れていないところ
自然が手つかずに残されていること
静かで緑豊かなところ。柔らかい道。鳥の鳴き声。
自然がいっぱいあってスタッフの人が親切
生きものがたっくさん（×３）
いろんな生きものがいるところ（×３）
いろんな生きものが見れて、とてもおもしろいです。
昆虫、生物が多い。自然が豊か。 等
生態系の多様性があり一周するだけでも生物のいろいろな面が見られてよい
動物、植物、鳥、虫がたくさんいる
昆虫がいっぱいいるから
虫がたくさん♡
カメがいるところ（×3）
カメ。冬だから冬眠しているけど。
カメが思ったより大きかった
カメがせきそうにしていて（？）かわいかった。
シマヘビがいました

アオダイショウ
カナヘビがいた
魚がいるから
静か。鳥のさえずり
鳥の声が聴ける！
鳥の写真が名前付きで展示してあって探すのが楽しいです。
カワセミがいるところ×２
田んぼが好きです
田んぼがあること
たんぼがきれい。
稲作を行っているところ
池がある（×３）
池周辺。田んぼ周り。
池が良い。
オレンジの川が好き
植物がたくさんで気持ちよい
自然の植物が見れるところ
きにさくはな。
植物が自然のままに存在しているところ
花がきれいなところ
草花です
うっそうとしているところ
奥行きのある深い静かな自然が楽しめること。
空気が気持ちいい
クイズがある（×２）
クイズが子どもたちに楽しめるようにかいていて良かったと思います。
クイズがありわかりやすかったです
今咲いていないところに名前があるのは良い。また別のシーズンに来てみようとする。
イベントがあるところ
ザリガニマスターができることです。
事務所に展示物が多い
素晴らしい自然体でメモしてあるのがとても良かったです
おはなのしおり。
ベンチがあった
里山みたいなところ。
土の道
いわゆる公園みたいでないこと。道が歩きにくいこと。
ぼうけんできるところ。
山登り
なかなか見られないカワセミなどが見れて子どもたちにも良い自然体験になります。ありがとうございます！
とても静かなところで落ち着きます。あってよかったところだなと思いました。
自然豊かでとても和みました^^ありがとうございました。
たのしかった
心が癒される。
心が洗われる
今のままで
十分いいところです。
2 回目です。良いですね。

◇意見など

おんぶばった
アオゲラを見たような
カワセミが見られた。
アオダイショウがかわいい
去年アオゲラを見たような気がしますが、いますか？カワセミは？
どうして鉄を流した部分と水の部分を分けているの？
ゴミ箱はありますか？ここまで来たときに緑道でゴミをいくつか拾ったんです。
キアシドクガが増えると結構大変ですが、大丈夫ですか？ex.相模原博、自然教育園
水周りはマムシが出そうでこわかったけれど、マムシはいないのでしょうか？以前自然散策路にマムシがいてこわかったので・・・
山が二つある。トカゲがいた。オオスズメバチの女王バチがいた。大人になったらここの整理をしたい。
希少なものは周知するといろいろな問題を起こすが、やはり知りたい！どこにあるのか…とかなかなか言えないかもしれないが、寺家町でもひっそりと守っている（クマガイソウ？だったかな）。ここでもできないか
小さな木を植えそのまま大きくして森林を大きくしたい
どんぐりをひろいました。スズメバチはこわい。
自然生態園は木も虫も池もあって好きになりました。好き☆
たのしかったです。
他の季節も見に来たくなりました。
貝があって楽しかった。
田んぼに氷が張っていました。
バードウォッチングを始めたばかりなのでとても素敵な場所を見つけて嬉しいです。ありがとうございます。
カメの卵・メジロのヒナを見たい。
親：いつも楽しく見ています。カメ、ザリガニ、魚、季節の生きものがいてとても楽しく子どもも一緒に楽しんでいます。これからも通いたいと思います。
本日久々に来園させていただきました。すぐカワセミに会えて感激！東山・西山もざっと歩いてみましたが、階段に竹？の破片が敷き詰められていてとても香りがよく歩きやすかったです。お手入れをされていたんですね。ありがとうございました。出来る時に自分もボランティアに参加してみたいと思います。
楽しかったです。また来ます。
１年ぶりです
自然生態園は、たまに来るくらいです。でも、生きものをもっと見つけやすくしてほしいと思っています。昔はあんまり来なかったけど、今は暇になったから必ず来ます。イベントなどを多くしてくださいね。
園の保全活動をされている方に感謝です
管理大変かと思いますがありがとうございます。
皆さんの努力に感謝
御苦労様です。御発展を祈ります。
理想を追い続ける努力を惜しまないでください。
ずっとこのまま無くならないでほしいです。
・良いところしかない！　・ずっと続けてほしい
「自然」がほんとうに少なくなってきているのでど～ぞこのままを末永～く保ってください
持ち帰りたいよ。

■2021年度 「米作り」アンケート（用紙による回答）■大人回答9

全体を通して「昔ながらの米作り」の内容は満足できましたか？	たいへん満足	満足	まあまあ	不満	未回答
	8	1	0	0	0

楽しかった作業は何ですか？	田起こし	田植え	草取り	かかし作り	稲刈り	脱穀	堆肥入れ
	5	7	3	2	5	7	5

スタッフへの要望・希望はありますか？	ない		未回答
	9		0
	何から何までありがとうございました。		
	私たちが心配なく作業できるよう、いつもお気遣い下さり、ありがとうございます。		
	説明もいつも分かり易く、おコメ作りについてとても勉強になりました！		
	昨年度に続き、コロナ禍の中、いろいろと大変なことも多かったと思います。ご尽力ありがとうございました。		

わかりにくかったことはありましたか？	なかった	あった
	9	0

参加費の金額は適当ですか？	ちょうどよい	安い	高い
	7	1	0

ほかにご意見、感想などがあれば自由に書いてください。
こどもの体験学習の一環で参加いたしました。結果は予想以上であり、自然に対する興味や体を動かすことの喜びを知ったようです。私自身も日常の仕事を離れ、ゆったりとした時間をすごせました。体力不足も痛感いたしました。
とても貴重な経験ができました。毎回ともて楽しかったです。「米作り」日の間も、生態園に通って田んぼの成長、そこにいるトンボetcの生きものの観察をすることも楽しみに通っていました。ありがとうございました。
ずっと参加したかった「米作り」に参加。当選の知らせを受けとった時は、とてもうれしかったです。コロナで餅つきができなかったのはとても残念でした。頂いたもち米は、おもちにして雑煮やぜんざいを作り、おこわご飯にしたり、赤飯にして食べています。美味しいです。限られた日程で、全て参加することが難しく、残念でした。来年度も子どもたちは参加を希望していましたが、土曜日の日程が重なる日があり、残念ですが、最初で最後となりました。スタッフの皆さまには、大変にお世話になりましたありがとうございました。
稲わらで、注連飾りやほうきを作るなど、稲にまつわるあらゆることを味わえて大変楽しかったです。お米も最高に美味でした。日頃の稲の管理や世話をしてくださったスタッフの皆さま、ありがとうございました！
来年度はまた作業ができたらうれしいです。
リピーターとして初参加の方々にもう少しサポートできればよかったと思いつつも、コロナのせいでおしゃべりもままならずといったところがもどかしかったかなと思います。
無農薬で自然の力だけでつくるもち米。食べ物に力強いパワーを感じました。おいしかったです。食べるって本来こういうことなんだな～と実感しました。この企画に感謝です。ありがとうございました。
たくさんいつも話しかけていただき、楽しくすごせました。

■2021年度「米作り」アンケート（用紙による回答）■こども回答11

たのしかったですか？	とても楽しかった		たのしかった	まあまあ		たのしくなかった		未回答
	11		0	0		0		0
何がたのしかったですか？	田起こし	田植え	草取り	かかし作り	稲刈り	脱穀	おもちつき	堆肥いれ
	5	6	5	3	5	8	実施できず	6
わかりにくいことがありましたか	なかった			あった				未回答
	13			0				0
	せいたいえんのこと	どうぐのこと	なえのうえかた	いねかりのしかた	だっこくのしかた	もみすりせいまいについて	その他	
	0	0	0	0	0	0		
せんたいえんを通して困ったことはありましたか	なかった			あった				未回答
	11			0				0
ほかに思ったことなどがあればおしえてください。								
いねかりのカマがむずかしかった。								
出来れば、もう少し多くのことをやりかったです								

2012年～2022年5月で観察できた昆虫

	種類	2012.2.21	2013.4.15	2014.6.11		2015.4.05		2016.5.12		2017.5.10		2018.4.22		2019.4.08		2020.5.15		2021.5.15		2022.5.15	
1	チョウ	40	45	46	10%	47	9%	48	8%	48	8%	48	7%	48	7%	48	7%	48	6%	50	6%
2	ガ	17	47	69	15%	87	17%	122	20%	141	22%	163	24%	195	27%	209	28%	234	30%	239	31%
3	セミ	5	5	5	1%	5	1%	5	1%	5	1%	5	1%	6	1%	6	1%	6	1%	6	1%
4	カメムシ	22	35	53	11%	56	11%	61	10%	62	10%	67	10%	68	9%	68	9%	70	9%	70	9%
5	トンボ	18	20	24	5%	24	5%	26	4%	25	4%	25	4%	26	4%	26	4%	26	3%	26	3%
6	カミキリムシ	8	19	24	5%	29	6%	30	5%	30	5%	30	4%	31	4%	31	4%	34	4%	36	5%
7	コガネムシ	16	21	22	5%	23	4%	24	4%	24	4%	25	4%	25	3%	25	3%	27	3%	27	3%
8	テントウムシ	9	13	14	3%	14	3%	14	2%	15	2%	15	2%	16	2%	17	2%	18	2%	18	2%
9	ハチ	14	20	28	6%	31	6%	38	6%	40	6%	42	6%	47	7%	51	7%	50	6%	50	6%
10	バッタ	10	10	10	2%	10	2%	12	2%	12	2%	12	2%	12	2%	12	2%	12	2%	12	2%
11	ハムシ	9	23	30	6%	32	6%	32	5%	32	5%	34	5%	34	5%	34	5%	34	4%	35	4%
12	ゾウムシ・オトシブミ	8	17	25	5%	28	5%	30	5%	32	5%	32	5%	32	4%	32	4%	33	4%	33	4%
13	アブ	5	15	17	4%	19	4%	23	4%	24	4%	24	4%	24	3%	24	3%	25	3%	25	3%
14	その他（ゴミムシ、カゲロウ、ハゴロモ、カマキリ、ナナフシ、　キリギリス等の仲間）	56	90	107	23%	120	23%	138	23%	145	23%	151	22%	156	22%	155	21%	162	21%	164	21%
	計	237	380	474	100%	525	100%	603	100%	635	100%	673	100%	720	100%	738	100%	779	100%	791	100%